

株式会社テクノマセマティカル

2024年3月期＜第24期＞ 第2四半期決算説明会 資料

■ Algorithm Specialist

TMC

2023年11月22日

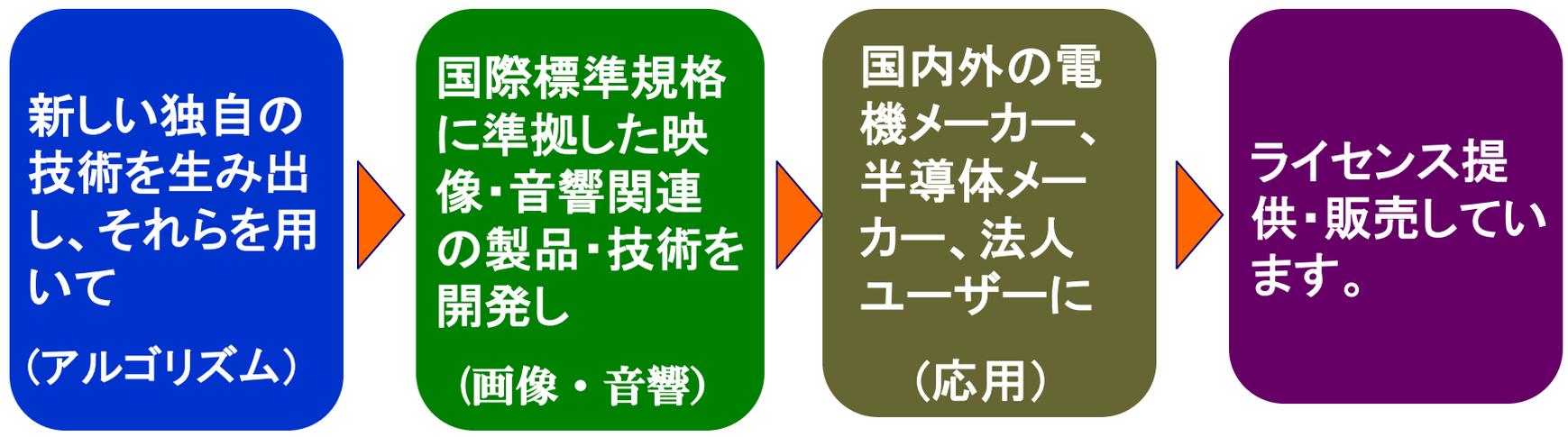
Agenda

1. 事業概要
2. 第2四半期決算の概要
3. 主要な売上指標の推移
4. 通期業績見通し
5. 2024年3月期の課題と進捗
6. 当社技術のご紹介

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをあらかじめご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について

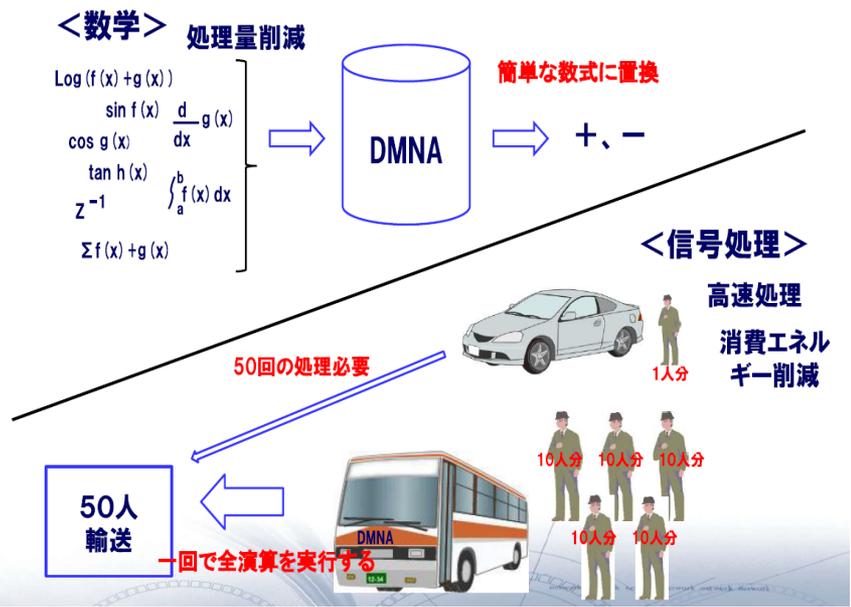


①高圧縮率、②高画質、③低消費電力量、④低遅延
を実現するデータ圧縮・伸張技術を開発、提供し続けます。

1-2 DMNAとは

テクノマセマティカルは、独自の技術「DMNA」を用いた、高品位なソフトウェア・ハードウェア技術・製品で、豊かな社会の実現に貢献します。

DMNA(Digital Media New Algorithm)の特徴



因数分解、折り返し演算、階層化処理等の数学的手法を用いて、演算の負荷を劇的に削減する新アルゴリズム、それがDMNA (Digital Media New Algorithm) です。DMNA は東京大学 客員教授の田中正文が中心となって開発、その応用分野は動画像に限らず、静止画、音声、音響等あらゆるデジタルメディアに広がっています。

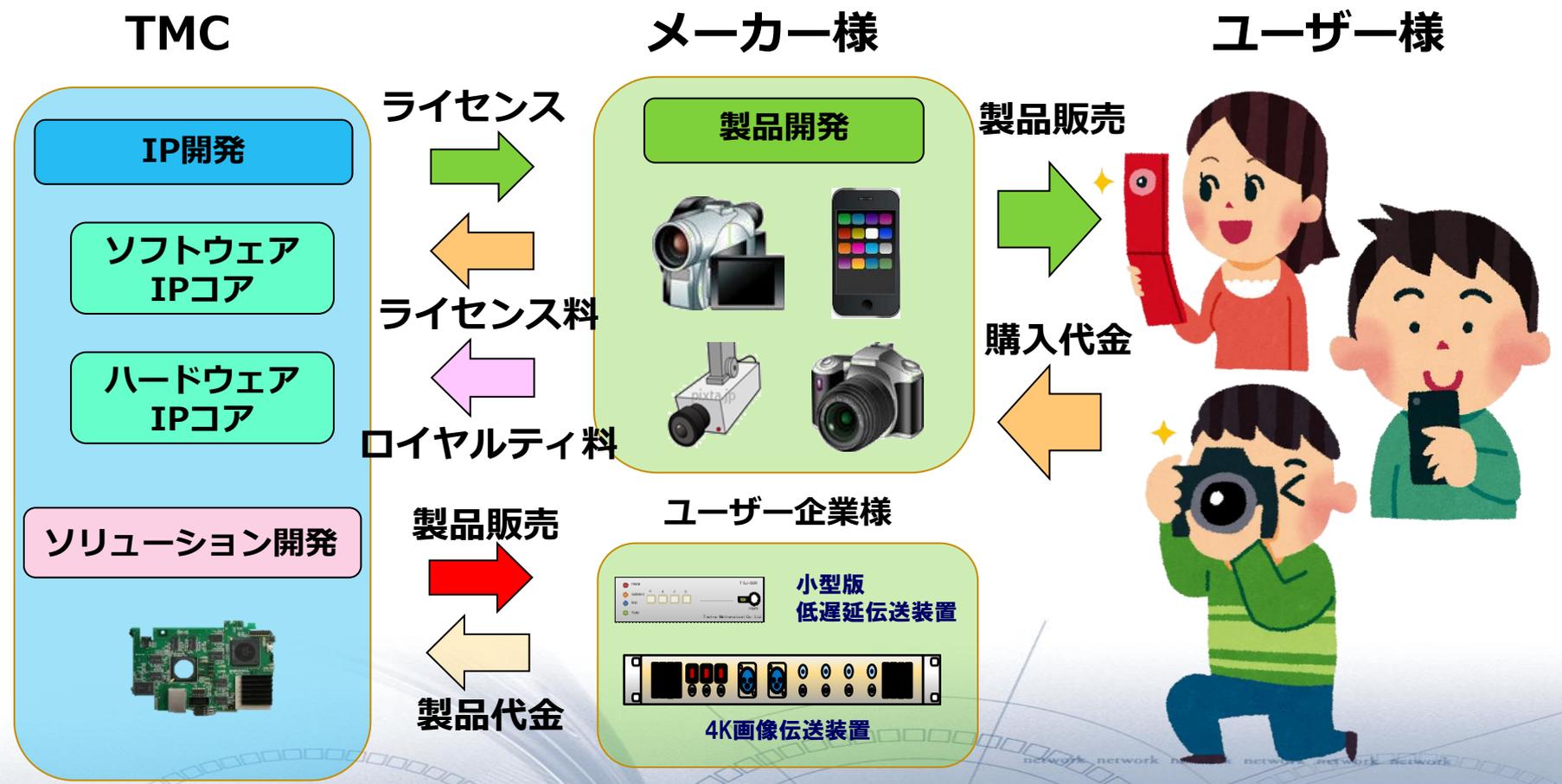
- 低消費電力** : CPU負荷をドラスティックに削減 !
(H264 Dec ARM 2572Mhz ⇒ 407Mhz)
- 高速化** : CPUの動作周波数を上げずに性能向上
(フレームレート: 60fps ⇒ 120fps)
- 高画質** : 新アルゴリズムによる2dbの画質向上
(空気を写す画質、)
- 低遅延** : デジタルの最大弱点である遅延を大幅削減

TMC製品搭載機器例、



1-3 ビジネスモデル

当社は、独自のコンピュータアルゴリズム DMNAを用いて高品質・低消費電力・低遅延のIP・ソリューションを開発し、国内外のメーカー様等にライセンス提供または販売しています。



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス/ロイヤルティ・モデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像/音響製品

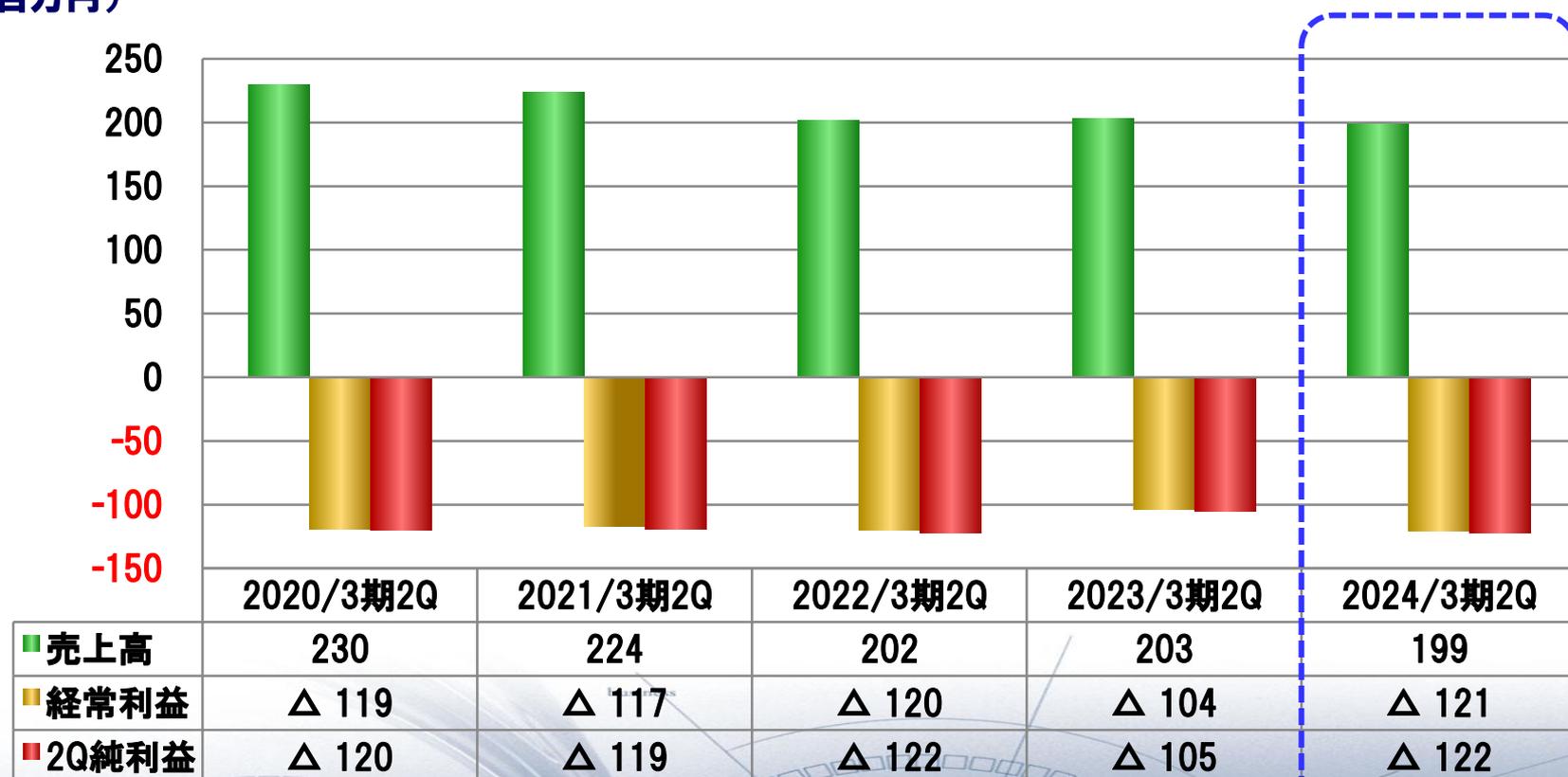
4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存/新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 業績の推移

- ◆ 売上高 前年同期間比2.0%減
ソリューション事業は堅調ながらライセンス事業の低迷が響く
- ◆ 損益面 売上高の伸び悩みで損益面も赤字幅拡大

(百万円)



2-2 損益計算書 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位：百万円)	当第2四半期（累計） (2024/3期2Q)	構成比	対前年同期間 増減比	前年同期間 (2023/3期2Q)
売上高	199	100.0%	Δ2.0%	203
売上総利益	181	90.7%	Δ4.9%	190
販売管理費	316	158.6%	4.1%	304
営業利益	Δ135	Δ67.8%	—	Δ113
経常利益	Δ121	Δ60.7%	—	Δ104
四半期純利益	Δ122	Δ61.4%	—	Δ105

2-3 貸借対照表 (2023年9月30日)

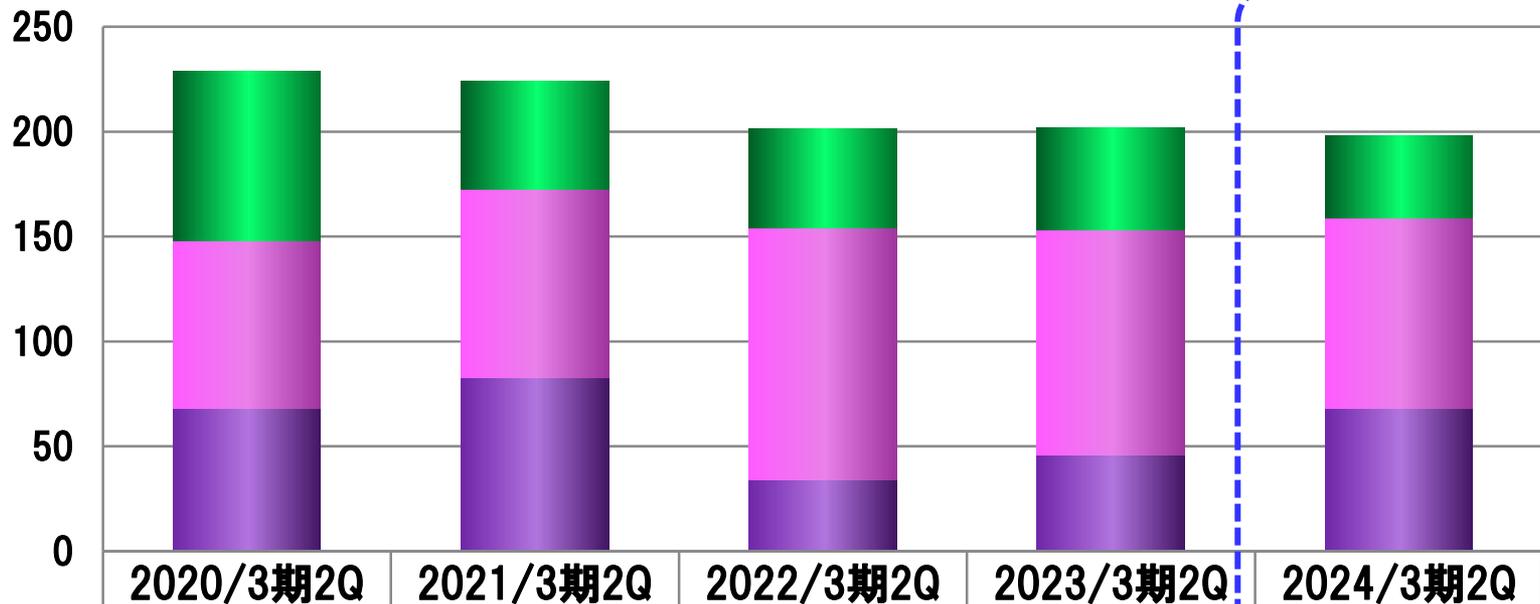
(単位:百万円)

	2023/9末	構成比	対前期末比 増減	2023/3末
流動資産	1,322	61.3%	△135	1,458
固定資産	832	38.6%	△8	840
資産合計	2,155	100.0%	△143	2,299
流動負債	81	3.7%	△10	92
固定負債	0	0.0%	△2	2
純資産	2,073	96.2%	△131	2,204

3-1 売上の内訳(事業区分別)

- ◆ソフトウェアは前年同期間比20%減・・・ロイヤルティ底打ちながら新規案件の減少で大幅減
- ◆ハードウェアは前年同期間比14%減・・・ロイヤルティは堅調ながら新規案件なしが響く
- ◆ソリューションは前年同期間比47%増・・・装置物販売、開発案件ともに回復傾向

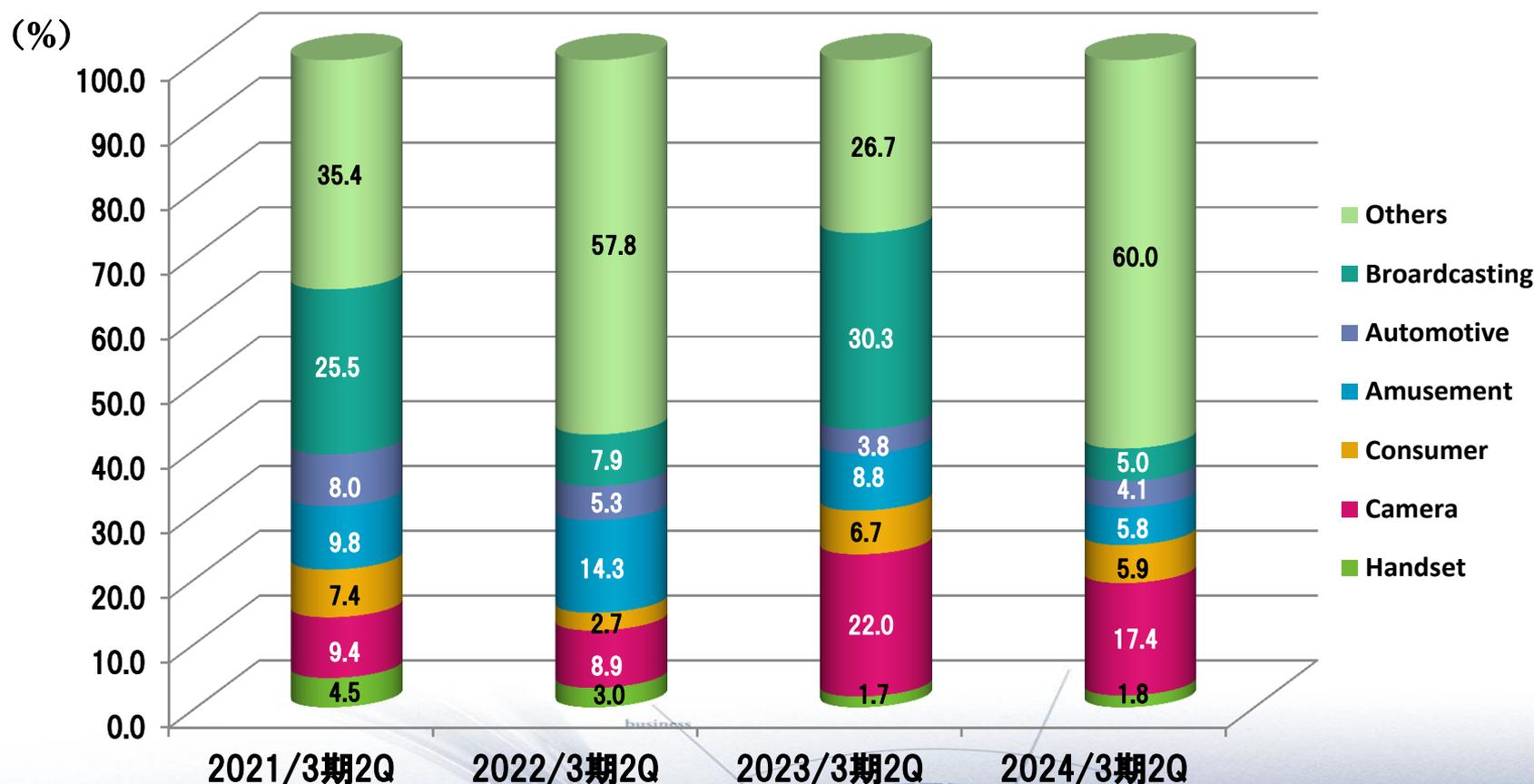
(百万円)



■ソフトウェア	81	51	47	49	39
■ハードウェア	80	90	120	107	91
■ソリューション	68	83	34	46	68

3-2 売上の内訳(対象市場別)

- ◆放送向けウエイト急減は放送機器向けハードウェアライセンス案件一巡が主因。
- ◆その他向けウエイト増加は各種開発案件増加が要因。



4-1 2024/3期通期業績見通し

(単位:百万円)

	予 想	増減	増減率	2023/3期実績
売 上 高	620	20	3.4%	599
経 常 利 益	△ 47	△ 3	—	△ 43
当 期 純 利 益	△ 52	△ 5	—	△ 46

- ◆ ソフトウェアライセンス＝車載機器、音声認識、携帯端末、配信システム向け中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝デジカメ、放送機器、表示装置向け中心にH.265、4K/8K、固定長、JPEG XS見込む
- ◆ ソリューション＝各種装置物拡販、車載関連やその他各種システム/カスタム案件も見込む

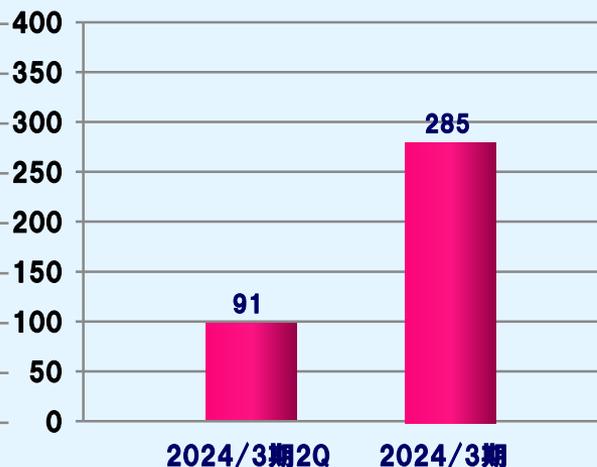
4-2 部門別見通し

<売上高> (単位：百万円、2024/3期2Qは実績値 2024/3期は計画値)

ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション



- ・ オーディオ、ボイス関連は**車載**、**音声認識**、**携帯端末**向け案件獲得見込む
- ・ **各種配信システム**関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む

- ・ **デジカメ**、**放送機器**向け中心に**H.265**、**4K/8K**案件獲得目指す
- ・ **ディスプレイ装置**向け中心に**固定長圧縮**、**デムラ圧縮**などの獲得見込む
- ・ **医療機器**向け**JPEG XS**も期待

- ・ **各種装置物**の国内外での**拡販**見込む
- ・ 防災・防衛向け**低遅延システム**の**拡販**見込む
- ・ **車載関連**や**各種システム構築**案件の獲得見込む
- ・ **映像鮮明化装置**も期待

5 2024年3月期における課題と進捗

1. 売上拡大

- (1) IPライセンス事業: 4K/8K/H.265/固定長/認識率向上SW案件の獲得
 - ⇒ 画像鮮明化SWの評価ライセンス案件獲得
- (2) ソリューション事業: 市場ニーズを先取りした新製品開発
 - ⇒ 超低遅延IP伝送システム & 4K版低遅延伝送装置はデモ版完成

2. 海外ビジネスの対応強化と案件数拡大

- ⇒ 台湾への定期訪問再開するもIPライセンス案件の発掘停滞

3. 営業ツールとしてのWebページ刷新と営業・開発の連携強化

- ⇒ Webページのデモ動画掲出で製品性能を見込顧客にアピール

4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の維持・強化

- ⇒ JPEG XSデコーダの汎用版開発、映像鮮明化装置機能アップ

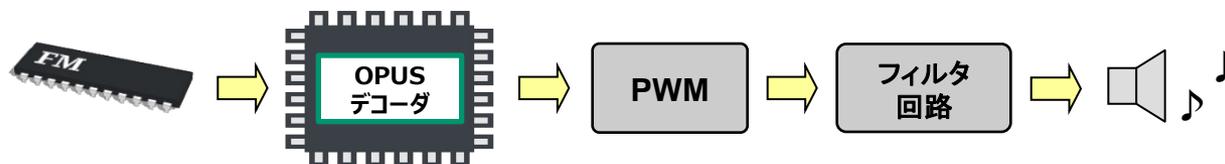
6 当社技術のご紹介(一部)

アンプなどの高価な周辺回路を用いずに音声再生を実現 低消費電力マイコン用OPUSデコーダ

<概要>

低消費電力マイコンと内蔵PWM(Pulse Width Modulation)、簡単な出力回路を使い低コストで高品質な音声再生を実現。

Opus(オーパス)はIETF RFC6716として規格化されたオーディオコーデック。



音声再生システムの基本構成

- ・高音質 サンプル周波数16kHz
- ・高圧縮率 FLASHメモリ64kBで約44秒の音声データを格納

<特長>

- ・TMC独自のコンピュータアルゴリズム「DMNA」により低負荷動作を実現
- ・情報家電、車載機器などへの豊富な採用実績に基づく信頼の性能
- ・大量の音声データ変換に便利なOPUSデータ変換ツール(PC版)を提供
- ・充実の技術サポート体制

<適用分野> 情報家電、車載機器他

アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp